

三小タイムズ

令和2年7月31日発行 校長 辻 久恵

道徳科授業（5年1組）

主題名 公正・公平な態度に向かうために

教材名 どうすればいいのだろう 出典 光村図書

内容項目 C 公正、公平、社会主義

本時のねらい

友達とのやり取りの中で、迷ったり悩んだりする2つの事例を通して、公正・公平に行動するためには、どんな心が必要かを考えさせ、自分の意思を強くもち、周囲の雰囲気や人間関係に流されず、自分自身に誠実に、正義の実現に努めようとする実践意欲を育てる。

学習の展開

- 「公平・公正」という言葉について考える。
 - ・「公正・公平」とはどのような意味でしょう。
- 「どうすればいいのだろう」を読み、話し合う。
 - ・事例1「ぼく」は今、どんな気持ちでいると思いますか。
 - ☆悪口を言われたくない ☆こわい ☆勇気がない
 - ☆嫌われても言う ☆見ているとつらい ☆言うとすっきりする
 - ・あなたが「ぼく」だったら心の中は？
 - 「言う」思いと「言えない」思いを心の円メーターで表しましょう。（言えない…青、言う…赤）
 - ・事例2「わたし」はどうして迷っているのでしょうか。
 - ☆言ったら同じチームの人に責められる ☆友達関係が悪くなる
 - ☆仲間外れにする人は感じ悪い人だから言った方がいい
 - ・あなたが「わたし」だったら心の中は？
 - 「入ったと言う」と「悩んだままで言わない」思いを、心の円メーターで表しましょう。（迷っている…青、言う…赤）

公平・公正に行動するためには、どんな心が必要なのでしょう。

